

編集後記

「推進技術の海外進出」に向けた自説をつぶやいていたら、年が明けてしまった。今年も、しばらくの間、この問題に固執したい。この課題整理を続ける。

前回、我国推進技術の本格的海外進出の先駆けとして、“推進技術のベトナム化”の必要性を語った。その際、台湾の事例を反面教材としようと口走ってしまった。これは、多少なりとも的外れ、相手台湾国に失礼な言い方になってしまった嫌いがする。事実、台湾とは、昨年秋、一昨年につづき第2回となる推進技術交流会を開催し、現在、台湾で課題とされる技術課題や日本の最新技術等について、闊達な意見交換の場を持ち、互いに実利性の高い関係を築いている。また、現在、台湾での我国推進専門家の施工実態は、高い評価と賞賛を得ている。

推進技術に関し、日本と台湾との交流は永く、それに伴う個人的な繋がりも多い。日本の下水道展には、例年、台湾から大勢の関係者が訪れ、掘進機展示の前で、我々と和気藹々、技術談義に花を咲かせている。今でこそ、推進技術に関する両国間の交流は太く、確かなものになっているものの、今から20年ほど前、台湾で本格的下水道事業が始まり、推進工法の採用を検討する時期、残念な

がら、日本との有効かつ確な技術交流がなされなかった嫌がある。1972年、日本と中華人民共和国との正式な国交樹立に際し、「日中共同声明」が出され、以後、台湾とは正式な政府間交流の途が閉ざされた。推進技術交流に関しても、台湾に関心のある特定日本企業や個人が単発的に出向き、個別的な事項について情報提供するのみで、推進工法の設計技術に関する基本的かつ包括的な枠組みを、日本側から正確には伝えられていない。このことが、今日、台湾での推進工事で散見される技術齟齬の背景ではないのか。

現在、我国推進専門家が手掛ける台湾での推進工事において、実際、予期せぬトラブルに遭遇する場面も多いと聞く。土質事前調査の不適切、推進管の不具合、補助工法の不適合、立坑構造の不備などが、実施工で露見されるが、その要因の多くは計画設計時での基本事項に過ぎない。これらの推進技術に関する基本的技術事項について、下水道事業着手前に、発注機関側できっちり整理し、国内共通の指針化、基準化ができていれば、この種のトラブルの多くは確実に回避できるはずだ。それが、当時の台湾に対し十分にできなかったこと、これが日本側の反省点だ。そのことで、台湾側はもちろん、

台湾事業に携わる日本業者側にとっても、不必要な苦勞と不利益、金銭的ロスを余儀なくされている。その二の舞は、これからのベトナムでは絶対に避けなければならない。幸い、今日、日本とベトナムの国交状態は極めて良好だ。

“推進技術のベトナム化”を進めるには、現在、我々日本の推進業界が手にしている技術、手法、技量、製品などを直接持ち込むのではなく、まず、推進技術に関する技術指針、設計基準、推進管規格、施工管理基準などについて、現有の日本基準をベースにしつつ、いかにベトナム版へアレンジするか、その支援が第一歩だ。彼らが求めるのは「日本基準」ではなく、あくまでもベトナムに定着する「ベトナム基準」なのだ。そのためには、我々は、ベトナム各都市に直接入り、都市の成り立ち、市民の生活実態、行動様式に生で触れ、実感したうえで、日本基準で適合しない点、過剰スペックな分、逆に不足する面を検証し、省くものは省く、修正するものは修正する、加えるものは加えるなど、彼らと一緒にテーブルで、ベトナム基準化をサポートしなければならない。現に持っているものを単に授けるのでは、真の支援にはならない。

〈編集委員長 石川和秀〉

No-Dig Today

No.82 2013 Jan. 平成25年1月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：松井大悟

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,575円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,300円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には、薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2012 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。